

特集

新ビジョンを掲げ、事業環境の変化に立ち向かう おかやの水道のいま、これから

5月号でもお知らせしたとおり、市の水道事業基本計画がリニューアルされました。改訂版は、安全で良質なおかやの水道水を、将来にわたって、安定的に供給していくため、国の指針にも照らして、①水道施設の整備、更新 ②水道管理体制の強化 ③危機管理体制の強化 ④水道事業の円滑化 …4つの政策推進の方向性を示しています。今回は、蛇口から水源までをもう一度見直し、課題やトピックを掘り下げて、おかやの水道の未来を考えてみたいと思います。

水道は転換期?!

高度成長期、急激な人口増と都市化に対応し整備されたインフラ、社会資本が、いま、さまざまなかたちで更新の時を迎えています。水道管が破裂し、水が噴き上がる、道路が陥没する…こうしたトラブルも、その多くは、水道管の老朽化が原因で起きているのだとか…。既存の施設を管理努力と応急処置で維持しつつも、古くなった水道管を適切に更新し、ライフラインを長期的に守るしくみをつくる、水道行政は、そうした転換期にあります。

〈考察〉おかやの水道のいま

蛇口から、いつでも、

安全・安心の

おいしい水

ミネラルウォーターと水道水、クリアしなければならぬ安全基準値は、水道水の方がとても厳しく、とくに、発がん性物質のヒ素などは、ミネラルウォーターの5分の1以下が水道水の認定基準値だとご存じですか。最近では、浄水技術が進化し、減菌のための塩素も、ごく少量に抑えられ、臭気はほとんどありません。さらに、おかやの水は「おいしい水」の要件「(Ⅱ)厚生省のおいしい水基準」を、すべての項目で満たした折り紙付きの良質さ。おいしくて安全な水が、蛇口からいつでも出てくる安心と便利、そしてミネラルウォーターの1000分の1以下の安価（岡谷市の水道料金は、自然豊かな長野県下19市中2番目の安さ）、かなりのスグレモノといえます。

水道水の元になる原水の種類

種類	日本	岡谷市
湖	1.5%	0%
ダム	45%	0%
川	30%	18%
地下水	20%	76%
湧水	3.5%	6%

おかやの水道管

【市の水道管総延長は344キロ】

● 水道管の交換の目安は…法定耐用年数の40年
毎年8キロペースで交換すれば、40数年の更新サイクルが実現できる

● 現実には…年に主要管路1キロ程度の更新にとどまっている

なぜ？

水道事業の必要経費は、水道料金収入でまかなうよう、法律で決められているから…

水道事業が抱える課題

人口減少社会の到来

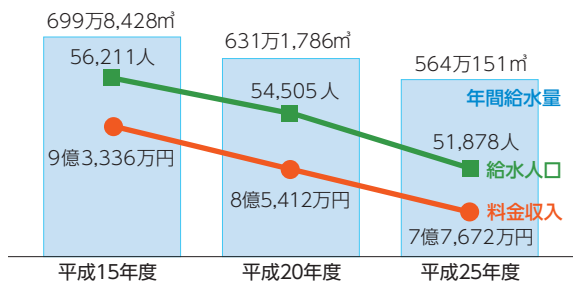
給水量減少

料金収入が減少

老朽管更新・耐震化のための費用不足

将来的なコスト増大

給水人口・給水量・料金収入の5年ごとの推移



課題の対応策

【持続可能な経営のために】

- 現有施設の有効活用
- 取水・配水系統の再編、耐震化、省工ネ省コスト化、浄水処理の高度化促進
- 民間活力の導入

将来世代に向けた

水道施設への投資は急務！

人口減少や節水によって、水道事業の採算が厳しくなるなか、更新や改修の費用を捻出するのは簡単ではなく、老朽化した水道管すべてを、一斉に取り替えることはできません。かといって、先送りしていると、将来の負担が大きくなるだけ…。では、どうしたらよいでしょう。

老朽化対策を進めるため、自治体によっては、水道料金を値上げする動きも出てきています。現在、岡谷市においても、丁寧な点検と補修により設備の長寿命化を図り、改修工事を効率的に行うなど、住民の料金負担をできるだけ抑える努力をしていますが、次世代のために、現在のサービス水準を維持・向上させていくことが重要です。そのため、料金の見直し、改訂を検討しています。

水源が汚染されてしまえば、おいしい水が台なし
 …横河川上流で不法投棄のごみなどを回収



岡谷市水道事業協同組合は、市域に安全・安心のおいしい水を供給する水まわりのプロ。市水道課と連携、役割分担し活動する指定工事店の集まりです。現在は、加盟する20社（うち14社が配管布設などの工事を担当）が、信頼の技術とサービスで、市民のみなさんのライフラインを支えています。みなさんのお宅のメータの検針も、



岡谷市水道事業協同組合
 理事長 原 功さん

ライフラインを支える気概で
 地域へ貢献！

水道を支えるエキスパート

わたしたちの仕事です。水源地の清掃など、おかやのおいしい水を守る環境整備活動も定期的に行っています。
 道路工事では、通行止めなどにより、ご不便をおかけすることもしばしばですが、安全確保を第一に、効率のよい作業に努めています。道が広くなって快適、新しい水道管になってうれしい…など、近隣のみなさんから声をかけていただくことも多く、ありがたいです。水まわりのトラブルは、突然起



災害に強くサビの出ない耐震型高性能ポリエチレン管、継手はエポキシ樹脂粉体塗装が主流



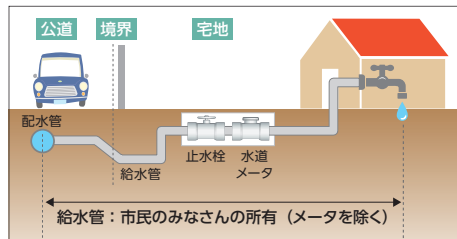
区の了承と警察の許可を得て工事開始



震災を教訓に耐震性にすぐれた耐震型ダクタイル鋳鉄管も普及。岡谷市もこれを採用している



断水にしない、水をむだにしない、など細やかな配慮で施工



サビの付着した給水管

つまりなどに注意し、給湯ボイラーの入れ替え時などには、配管の寿命も併せてチェックしてはいかがでしょうか。

こりますので、困った経験をお持ちの人も多いと思います。当組合では、当番制（16、17ページのカレンダーに毎月掲載）で、緊急の修理などに対応していますが、水道本管から宅内へ引き込んでいる水道部分は、個人の所有物ですので、メンテナンス費用などは、住民のみなさんの個人負担となります。日ごろから、凍結や漏水、

水をつくり 水の安全を見守る

蛇口まで、安全・安心の水を届けるのは、市の業務。専門職員が、配水池の見回りや浄水場の運営を担当し、水源と水質を厳重に管理しています。



市役所敷地内の水源中央監視室



内山配水池のドーム内



樋沢配水池での見回り



出前講座「水道水ができるまで」好評実施中！

水と水道水についてや岡谷市の水道事情について、理解を深める勉強会を市職員がサポート。水をつくっている現場から、その道のプロが出張し、みなさんの疑問にお応えします。水の大切さや恵まれた環境をあらためて意識する機会にいかがですか。



5月13日

田中小学校4年1組・2組

合同授業で実施

職員

「こんにちは。学校やみんなの家の水道水は、どこから来ていると思いますか？」



職員

「はい。では、みんなが使っている水はどんな水なのか、どんなふうにつくられているかなど、いっしょに勉強していきましょう」

水源を知り、浄水場の設備や浄水方法、配水のしくみなどを学び、ペトボトルを使った泥水の簡易ろ過実験などを行うことで、学校や家庭で使っている水道水が、ぐっと身近に！

受講した感想は？

全国的には、湖の水を飲んでいる地域もあるけれど、おかやは諏訪湖の水を使っていないと聞いて安心した

消毒のために入れられている塩素を調べる実験がおもしろかった

下水道に流れた水が、処理されてきれいになり、降る雨になり、また水道水になるという循環が勉強になった



24時間ポンプが動いて水道が使えることや、故障や異常がないか、水道課の何人もの人がいつも注意していることがわかった



出前講座のご用命、お待ちしております！

当たり前に使っている水道が、これからも当たり前に使える、素晴らしいものであるためには、住民のわたしたちも、水と水道にいっそう関心を寄せ、水道事業の運営をともに支えていく意識をもって、山や川にごみを捨てないなど、水源保護の意識を徹底し、水環境を守って行くことが大切ではないでしょうか。

問合せ●水道課(内線1422)



6月1日(月)～7日(日)は 水道週間です

「カラカラで 蛇口に飛び込む 僕の口」 (今年度スローガン)

水道は、ほとんどの家庭に普及し、わたしたちの生活から切り離すことのできない重要な役割を果たしています。水道水ができるまでのしくみや料金、水の大切さなどについて、みなさんに理解を深めてもらう期間が「水道週間」です。市では、今後も安全でおいしい水をお届けするために、水道施設を充実させ、信頼と理解を得られるよう効率的な事業運営を行っていきます。みなさんも、ぜひ、この機会に水道について考えてみましょう。

水道蛇口のゴムパッキンを 無料配布

水道週間にあわせて、水道蛇口のゴムパッキン(2個入り)を無料配布します。

定員…先着50名

配布期間…6月1日(月)～5日(金)

配布場所…水道課窓口

※蛇口によっては、合わない場合があります。

申込み・問合せ ● 水道課(内線14411)

午前8時30分～午後5時15分(土・日除く)

水道メータの交換にご協力ください

水道メータは、計量法に定める有効期限(8年)毎に交換することになっています。本年度も6月から11月にかけて、期限切れとなる水道メータの交換を行います。対象となる家庭には、市が委託した水道事業協同組合(指定工事業者)から、事前にお知らせしますので、ご協力をお願いします。

● 交換による手続きや手数料は必要ありません。ただし、増改築などによりメータボックスが隠れている場合は、一部費用を負担いただく場合があります。

● 交換の際には二声かけていますが、ご不在でも敷地内に入って交換することがありますので、ご了承ください。

● 交換した家庭には、「水道メータ交換のお知らせ」を郵便受けに入れます。

● 交換後、一時的に空気がにこり水などが出る場合がありますので、使い始めに水を少し流してください。

問合せ ● 水道課(内線14416)

お願い

貯水槽の管理を適切に！

ビルやマンションなどの高い建物では、水道水を貯水槽(受水槽・高架水槽など)に貯めてから給水しています。貯水槽内の水質や施設の管理は、貯水槽設置者の責任です。管理が不十分だと、水道水が汚染されるおそれがありますので、適切な管理をお願いします。

1. 貯水槽の清掃

2. 貯水槽の定期点検の実施

3. 水質検査の定期的実施

給水管の管理点検を！

給水管は、水道本管分岐から蛇口までが個人の所有財産です。漏水などに注意して、日常の点検をお願いします。

● 不凍栓や蛇口の半開きは、使用水量の増加となり、不要な水道料金を負担することになります。

● メータボックスの上に、物を置かないでください。

● 昭和63年以前に整備された給水管は、鉄製のため、管が老朽化していると腐食して「サビ」が発生し、一時的に赤水が発生することがあります。また、それより古い家屋の場合、鉛管が使用されている可能性もあります。

鉄管による赤水の成分は鉄分で、飲んでも健康上問題はありません。また、鉛管の場合でも、通常の使用状態では、国の定めた水質基準に適合しており問題ありませんが、管にたまっていた使い始めの水は、飲用以外に有効利用しましょう。また、家屋の建替えや増改築の工事を行う際には、腐食した鉄管や鉛管の取替工事をするをおすすめします(給水装置は所有者の財産です)。工事費用は個人負担になります。工事の際は、市指定給水装置工事業者にお申し込みください。

問合せ ● 水道課(内線14429)